

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2003-517558(P2003-517558A)

【公表日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【出願番号】特願2001-545778(P2001-545778)

【国際特許分類】

F 2 4 H 1/18 (2006.01)

F 2 4 H 9/00 (2006.01)

F 2 8 D 9/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 H 1/18 A

F 2 4 H 9/00 A

F 2 8 D 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】板状熱交換器(1)および温水の貯蔵コンテナ(2)を有する湯沸器であって、

前記貯蔵コンテナ(2)は、該貯蔵コンテナの外側を画定する壁(2)と、温水を送る排出口(7)と、前記壁(2)の対向部分を相互結合して互いに直角の3方向に力を伝達する補強体(9-11、13-13)とを備え、

前記貯蔵コンテナ(2)内の前記補強体は、水切りおよび窪みを備えた積層板(13-13)を有し、前記積層板は、ろう付け、はんだ付け、溶接または接着により相互結合されるとともに、温水が流通可能な水路(3、3、3、3)を形成する開口部を備えたことを特徴とする湯沸器。

【請求項2】互いに直角な2方向における前記貯蔵コンテナの外形および寸法が、前記貯蔵コンテナ(2)に結合した前記熱交換器(1)の前記2方向における形状と寸法に実質的に等しいことを特徴とする請求項1に記載の湯沸器。

【請求項3】前記貯蔵コンテナ(2)は、一方の回路のみを用いた周知の二回路液-液型板状熱交換器として構成されることを特徴とする請求項2に記載の湯沸器。

【請求項4】一方の端板(30)が二回路間の接続部(31、32)を形成すること以外は、周知の二回路液-液型板状熱交換器として構成されることを特徴とする請求項2に記載の湯沸器。

【請求項5】前記貯蔵コンテナ(2)は温水を供給する板状熱交換器(1)と一体であることを特徴とする請求項1~4のいずれか1項に記載の湯沸器。